



第4回 EU・日本科学政策フォーラム

「科学の地殻変動——グローバルなイノベーションシステムにおける国家と産業」

日時： 2013年10月5日（土） 13:00-18:00 場所： グランドプリンスホテル京都

主催： 駐日欧州連合（EU）代表部、EU加盟各国、政策研究大学院大学（GRIPS）

経済的困難にもかかわらず、各国の研究・開発に費やす予算は増えており、国家のイノベーションシステムの近代化・再構築に向け、真剣な努力が行われている。これらはすべて、激化する国際的競争に遅れをとらないための取り組みである。

この激しい競争の中でより成功を収める国は、自国の学問的優位性を高めるとともに、同時に国際的ネットワークに参加している。競合国やパートナーとの情報共有・研究協力がカギを握る時代となっている。その一方で、各国は自国の研究者の国際化を求めつつも、彼らが流出してしまうことは望んでいない。どのような仕組みがこの一見矛盾する要求に応えられるのか？

国際的な共同研究は、異なる考え方への直接的対峙や異なる文化・市場との統合や接点をもたらす。産業の観点から見ると、共同研究に対してあまり慎重になってはいないだろうか？ 次世代技術を準備するとき、共同研究の重要な目的のひとつは国際的基準作りであろう。技術は多くの国で受け入れられなければならない。競争と協力との間の間合いをどのように取ればいいのか？

国際的共同研究の重要性が増す中、グローバル・リサーチ・カウンシルの設立に向けた努力が行われている。今日、欧州連合（EU）のホライゾン 2020 計画は世界で最も開かれた共同研究プログラムである。各国の科学機関も課題に立ち向かう準備ができているか？ 他方、産業界の要望は何か？ 次世代製品の開発に向け、どう絡んでくるのか？

予定される参加者（一部）

ジェネビエーブ・フィオラソ 高等教育・研究担当大臣（フランス）

マウロ・デルアンブロジーオ 教育科学技術庁長官（スイス）

マリア・オロフスカ 科学高等教育副大臣（ポーランド）

カルメン・ヴェラ 研究開発・イノベーション担当副大臣（スペイン）

原山 優子 内閣府総合科学技術会議議員（日本）

マルコム・ハーバー 欧州議会科学技術選択評価委員会（STOA）副委員長

中村 道治 独立行政法人科学技術振興機構理事長（日本）

ポール・ボイル サイエンス・ヨーロッパ議長、英国経済社会研究会議長（英国）

西口 泰夫 京セラ株式会社相談役、元京セラ社長（日本）

マルタ・クロフォード＝ハイツマン アレバ社研究・イノベーション担当上級 副社長（フランス）

議事（案）

司会： **バーバラ・ローデ** 駐日 EU 代表部科学技術部長

13:00

開会の辞

ハンス・ディートマール・シュヴァイスグート 駐日 EU 大使

尾身 幸次 STS フォーラム創設者・総括責任者（日本）

白石 隆 政策研究大学院大学長（日本）

マルコム・ハーバー 欧州議会 STOA 副委員長

共同議長：

ロビン・グライムス 英国外務省首席科学顧問（英国）

有本 建男 政策研究大学院大学科学技術イノベーション政策プログラム
ディレクター

13:30-14:00

基調講演： **ミヒール・コルマン** エルゼビアグローバルアカデミック上級副社長（オランダ）

質疑応答 「何が科学的成功をもたらすのか」

14:00-14:55

第1パネル—科学機関（モデレーター：**有本 建男、ロビン・グライムス**）

ポール・ボイル サイエンス・ヨーロッパ議長、英国経済社会研究会議議長（英国）

中村 道治 独立行政法人科学技術振興機構理事長（日本）

マリア・ヘレナ・ナザーレ 欧州大学協会会長（ポルトガル）

黒田 玲子 東京理科大学教授、国際科学会議元副議長（日本）

15:00-16:00

第2パネル—産業界（モデレーター：**ロビン・グライムス、有本 建男**）

西口 泰夫 元京セラ株式会社社長（日本）

マルタ・クロフォード＝ハイツマン アレバ社研究・イノベーション担当上級 副社長（フランス）

前田 裕子 株式会社ブリヂストン本部長、全国イノベーション推進機関ネットワーク（日本）

リチャード・パーカー ロールス・ロイス 開発・技術担当ディレクター（英国）

16:00-16:25 コーヒーブレイク

16:30-17:45

第3パネル—政策立案者（モデレーター：**有本 建男、ロビン・グライムス**）

ジェネビエーブ・フィオラソ 高等教育・研究担当大臣（フランス）

マウロ・デルアンブロジーオ 教育科学技術庁長官（スイス）

マリア・オロフスカ 科学高等教育副大臣（ポーランド）

カルメン・ヴェラ 研究開発・イノベーション担当副大臣（スペイン）

原山 優子 内閣府総合科学技術会議議員（日本）

マルコム・ハーバー 欧州議会 STOA 副委員長

伊藤 宗太郎 文部科学省 科学技術・学術政策局次長（日本）

総括：**ハンス・ディートマール・シュヴァイスグート** 駐日 EU 大使

閉会の辞：**原山 優子** 内閣府総合科学技術会議議員（日本）

18:00 終了

登録にはお名前、ご所属およびメールアドレスを下記に送信ください。

Delegation-Japan-St@eeas.europa.eu

問い合わせ先：駐日 EU 代表部科学技術部

バーバラ・ローデ 03-5422-6050 トム・クチンスキ 03-5422-6058

*なお、本フォーラムには日英同時通訳が付きまます。